

【 I テサロニケ人への手紙 3章】

「あなたがたが主にあって堅く立っていてくれるなら、
私たちは今、生きがいがあります。」(I テサロニケ3:8)

パウロは、復活の主に出会って人生の価値観が全く変わり、その生きがいも全く変わったことがここでわかりますね。皆様の生きがいは何ですか？

パウロはこの世における成功者で、律法を守ることに一生懸命であった為に、クリスチャンを迫害、殺害していましたが、今や主の為、主のしもべの為に十字架を負って、彼らの信仰の育成のために大きな苦難がありました。パウロは迫害下にあるテサロニケの信徒が心配で、同労者※テモテを遣わしてその様子を知ることができました。テサロニケの人達が、苦難や誘惑の中で信仰を失うなら、パウロ達の労苦は無駄になりますが、テモテの報告は、彼等がそのような中にあっても信仰と愛を保っているということ。パウロが彼らを思い祈っているだけではなく、彼等がパウロのことを思って会いたがっていることを知りました。パウロはその事を神様に感謝しそれは彼の生きがいとなったほどです。信仰と愛の交わりはそれほど尊いものなのです。

3節「私たちはこのような苦難に会うように定められているのです。」とありますが、神様は愛と赦しを与えてくださったのに、なぜそのような苦難を私達にお与えになるのでしょうか。イエス・キリストは私たちの救いの為に苦しみを受けてくださいました。I ペテロ2:24に「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、**私たちが罪を離れ、義のために生きるため**です。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」 私たちが苦しみを経験することによって**イエス様のお苦しみ**が**私の罪の為**であったかが分かる者とされます。数年前、私がリユーマチで苦しんで、明日もこの痛みを耐えて生きていかなければならないのか！と思っていた時、ふっとイエス様のお苦しみが私の為であったことが分かり、感動の涙が溢れてきました。私たちは苦しみの中で神のあわれみを体験します。また苦しみがあるからこそ神を求め、神に立ち返り、へりくだりを与えられ、銀が炉で精錬されるように魂がきよめられ、信仰が立て上げられてゆきます。(イザヤ63:9 ホセヤ5:15 詩篇119:67 II歴代33:12 イザヤ48:10) **苦難は私たちに益をもたらし、苦難を通して私達は作り変えられてゆきます。再臨の主が来られる時に受け入れられる者となる為です。**

人間の力で何かできる間は、神様がおられても気づかず、神の力を認めようとはせず、栄光も神にお返しできません。しかし、人間の力が尽き、自分に可能性がなくなった時が神様の出番です。本気で神様を求め祈るなら、神様のみ手が働くのを見てゆくことが出来るでしょう。

試練の中で、信仰と愛を持っているテサロニケの人のように、私たちもまた、苦難があればあるほど神様に近づき、感謝と賛美を神様に捧げ、神様の奇蹟のみ手を体験してゆきましょう。テサロニケの教会の人がこのような信仰と愛をもてたのは、陰にパウロや聖徒の**とりなしの祈りと愛**があったからでしょう。ますます教会の働きを支える一人一人として、祈り支えあってゆきましょう。そして主がなしてくださった一つ一つを神様に感謝して証しし、栄光を神様にお返ししましょう。

※「同労者」と言うのは、主の働きを共にする人のことをいいますが、毎月1回東京アンテオク教会で行われている“スネルゴイ セラペイア”は同労者の癒しのミニストリーといった意味です。来年2月に白馬でもたれる“スネルゴイクャンプ”は、神様からの賜物について学び訓練するためのセミナーなどありますが、スキーもスノーボードもできます。参加できるようにお祈りください。

*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.12.16 No.714

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。

若草の上の小雨のように。

青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>